

## 報告事項3 JAみのりの自己改革の取り組み状況について

### ○JAみのりの自己改革の取り組みについて

政府は、農協改革集中推進期間を令和元年5月までとし、准組合員の事業利用規制や信用事業の譲渡も含めた改革の実施状況についてフォローアップを進めています。

これに対し、JAグループは、持続的な地域農業の維持・振興とくらしやすい地域社会の実現に向けて、総合事業の展開により、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を基本目標とする自己改革に取り組んでいます。

JAみのりがこれまで取り組んできた自己改革の成果と課題は次のとおりです。

### ○自己改革の成果と課題について

#### 【農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組み】

##### ・目標と実績

販売品販売高 目標 49.8億円 平成30年度実績 52.8億円

取り組み	具体的な内容	成果と課題
販売力強化による農業者の収入増加	新たな販路開拓による販売力の強化	28年度より、販売先の開拓を進め、大手スーパー、デパート、ホテルレストランなどとの取引を開始しました。また、地産地消の一環として、各市町給食センターへの食材提供を積極的に進めました。
	直売所基幹出荷者の育成	<p>出荷者を集めて研修を行うなど、売れる農産物の情報を提供し、農業者の収入増加に向けた営農指導を進めました。</p> <p>農産物直売所（ふれすこ社店、ふれすこ西脇店、道の駅みき直売所）の出荷者に対し、端境期対策として販売額に応じた助成を実施しました。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>農業用パイプハウスの設置 9件支援しました。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>レンタルハウス 5件 貸与事業 4件</p> </div> <p>30年度末 ・設置したパイプハウス</p> </div> </div>
購買事業等の新たな取り組みによる農業者のコスト低減	集落営農等担い手の育成	<p>肥料・農薬、また水稻苗等においても大口利用者に対し一定の基準により助成を行い、規模拡大を奨励しました。</p> <p>水稻・小麦・白黒大豆の肥料・農薬を予約購入する集落営農組織や認定農業者を対象に助成を行い、担い手の育成に努めました。</p>

取り組み	具体的な内容	成果と課題		
農業所得 アッププランの 取り組み	新たな特産物タマネギ等の作 付拡大支援	<p>一定の基準において生産者への作業機械の購入助成を行ったり、専用機のリースを開始しました。栽培講習会を実施し、作付指導を徹底しました。</p> <p>販売目的での新規栽培や面積の拡大にも一定の基準を設けて助成を行いました。</p> <p>作付面積は増加していますが、今後農業者の所得拡大に向けて反収をさらに増加させていく必要があります。</p>		
		28年度	29年度	30年度
		154 a	531 a	763 a

### 【地域の活性化に向けた取り組み】

取り組み	具体的な内容	成果と課題		
地域ふれあ い活動の活 性化	食農教育活動の実施	<p>管内小学校等を対象に農業体験を実施しました。また、振興野菜を使った親子料理コンテストの実施とコンテスト応募者限定の親子料理教室を実施し、食の大切さを伝える活動を行いました。</p> <p>〔28～30年度実績〕 農業体験：12回／年（参加者478人） 料理コンテスト・教室：30年度実施（応募28組）</p>		
	地域密着事業所づくり	<p>全支店と全営農経済センターを対象に地域の活性化を目的とした活動が活発になるように、「JAファンづくり活動」の取り組みを進めました。</p> <p>〔28～30年度実績〕 12支店9センターほか 毎年80回以上開催</p>		

### 【その他の取り組み】

取り組み	具体的な内容	成果と課題		
組合員に対 する積極的 な情報発信、 意見交換	地区別ふれあい委員会の開催	<p>支店エリアごとに認定農業者や農会役員、女性会役員や利用者代表などを構成員としたふれあい委員会を開催。地域の活性化をテーマに議論を重ねました。結果、新しいイベントを実施したり、従来からの取り組みが改善できたりと具体的な成果も表れています。</p>		
	地区別農業懇談会の開催	<p>農閑期となる11月から12月にかけて、地区ごとに認定農業者や集落営農の代表者、生産部会長などを参集して農業懇談会を開催し、JAが取り組む自己改革の内容や活用いただける助成事業の紹介を行い、取り組みに対する意見交換を行いました。</p> <p>〔28～30年度実績〕 農業者との意見交換会（地区ごとに開催のべ15回）</p>		
	担い手農業者への訪問	<p>平成28年から30年度にかけて実施した地区別農業懇談会の不参加者に対して、常勤役員などによる訪問を実施し、自己改革の取り組み説明とともに意見交換を行いました。</p>		

【農業振興・地域貢献に関する支援・活動一覧】

支援事業名	支援内容	28年度実績	29年度実績	30年度実績
レンタルハウス助成事業	パイプハウスのレンタルを希望される方に1棟につき30万円（建設費上限15万円、本体費上限15万円）までの助成とハウス費用の分割（5年間）対応。	2件 314千円	2件 590千円	1件 221千円
ふれすこ端境期対策助成事業	農産物直売所（ふれすこ社店、ふれすこ西脇店、道の駅みき直売所）の出荷者に対し、1・2月の販売金額の3%を還元（総額限度あり）		205件 767千円	213件 676千円
肥料・農薬大口利用助成事業	J Aで肥料農薬を年間に30万円以上購入された方に購入額の2～7%を助成	489件 8,443千円	361件 7,496千円	390件 7,855千円
集落営農等担い手助成事業	集落営農組織や認定農業者を対象に水稻・小麦・白黒大豆の肥料農薬予約購入額の10%を助成	96件 11,818千円	93件 11,853千円	87件 6,814千円
ニュー土改王の無料散布と価格助成事業	ニュー土改王を予約購入された方に対し、1袋につき200円の助成と無料散布のサービス	1,818件 22,856千円	1,813件 22,854千円	1,737件 22,629千円
水稻機械植え苗助成事業	育苗センターで水稻苗を500箱以上購入された方に対して1箱あたり50円～100円の助成	50件 4,071千円	56件 4,310千円	60件 4,607千円
山田錦フレコン購入助成事業	山田錦出荷者に対して出荷用フレコン購入額の50%（上限5万円）を還元	26件 428千円	37件 536千円	46件 537千円
園芸作物生産作業機購入助成	野菜などの園芸作物に必要な機器の購入助成、販売目的で年間20a以上栽培される農家に購入額の30%（30万円以内）を助成。		36件 6,390千円	31件 5,193千円
園芸作物生産作業機械リース	農業者等に対して園芸作物用の作業機械のリースを実施		17件 257.0 a	21件 343.8 a
特産作物の生産振興助成事業	第5次営農振興計画に掲げる作物について、指定された地域内で販売を目的に栽培される方に1aあたり1,500円以内の助成（総額限度あり）		56件 916千円	69件 990千円
特産作物の生産拡大助成事業	管内でキャベツ、タマネギ、兵庫丹波黒大豆を販売目的で栽培し、面積を拡大される方の前年比増加量に対し、1kgあたり3～80円の助成（総額限度あり）		134件 3,712千円	69件 1,009千円
アグリマイティー資金利息等減免事業	農機具購入、農業施設建設等で資金を利用される方を対象に利子補給（J Aみのり1年、J Aバンク3年）と保証料全額助成		65件 4,305千円	40件 2,151千円

支援事業名	支援内容	28年度実績	29年度実績	30年度実績
生活文化活動	組合員のくらしの向上や地域の活性化に向けた活動	女性会教室・ふれあい委員会・各種イベントなど地区別に多数実施	女性会教室・ふれあい委員会・各種イベントなど地区別に多数実施	女性会教室・ふれあい委員会・各種イベントなど地区別に多数実施
組合員組織活動	生産部会、女性会等の組織活動に対する支援	34組織 13,331千円	32組織 13,224千円	30組織 13,000千円

### ○今後の自己改革の取り組みについて

J Aみのりでは、経営理念「わたしたちは地域・人・くらしの未来づくり（ゆたかなみのり）をめざします」にふさわしい取り組みができますように、自己改革の成果と課題を経営計画に反映し、確実な進捗管理を行うことで、今後も継続して自己改革に取り組んでまいります。

組合員のみなさまとともに話し合いながら、農業と地域の未来を拓いていけるよう進めてまいりたいと考えていますので、今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。